

平成 29 年度 第 1 回敬老パス・マナカ利用促進プロジェクト（仮称）

平成 29 年 11 月 6 日（月）午前 9 時 30 分
特別会議室（本庁舎 2 階）

1 プロジェクトの概要について

2 今後の進め方について

敬老パス・マナカ利用促進プロジェクト（仮称）について

1 プロジェクトの趣旨

平成 29 年 6 月定例会の質問に対する市長答弁をうけて設置するものであり、敬老パス・マナカによる電子マネー利用を伴う高齢者の外出促進や、敬老パス・マナカによる電子マネー決済が可能な交通局加盟店舗などの拡大を通して、地域経済を活性化し、交通局の安定した経営基盤を作るとともに、敬老パスの利用拡充につなげることを目的とする。

2 これまでの検討状況について

（１）経過

本年 7 月から 9 月の間に、市民経済局、健康福祉局、交通局の 3 局合同で、部長級の検討を 4 回実施した。

（２）主な検討内容

- ・課題と対応について
- ・平成 30 年度予算要求について
- ・今後の進め方について

（３）検討結果まとめ

- ・別添資料のとおり

（参考：6 月定例会市長答弁抜粋）

交通局はもちろん、全局をあげて庶民ファーストを実践し、今後とも電子マネーを使える店舗の開拓に努め、マナカや敬老パスを便利に活用できる場を増やして地域経済の活性化を推進したいと考えている。こうした取り組みにより、交通局の安定した経営基盤を作り、自信を持って敬老パスの利用拡充ができるようになっていきたい。そのために、早急に全庁をあげたプロジェクトチームを発足させ、進めてまいりたい。

敬老パス・マナカ利用促進プロジェクト(仮称) 案

プロジェクトの目的

敬老パス・マナカによる電子マネー利用を伴う高齢者の外出促進や、敬老パス・マナカによる電子マネー決済が可能な交通局加盟店舗などの拡大を通して、地域経済を活性化し、交通局の安定した経営基盤を作るとともに、敬老パスの利用拡充につなげる。

<6月定例会市長答弁> 交通局はもちろん、全局をあげて庶民ファーストを実践し、今後とも電子マネーを使える店舗の開拓に努め、マナカや敬老パスを便利に活用できる場面を増やして地域経済の活性化を推進したいと考えている。こうした取り組みにより、交通局の安定した経営基盤を作り、自信を持って敬老パスの利用拡充ができるようにしていきたい。そのために、早急に全庁をあげたプロジェクトチームを発足させ、進めてまいりたい。

全体的な課題

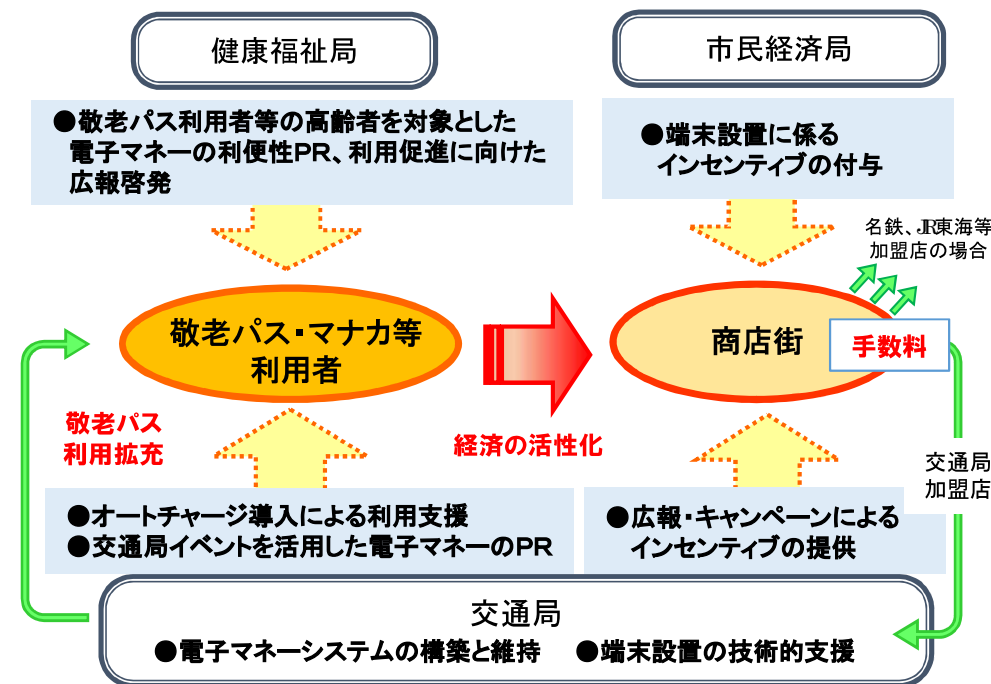
- 全庁的な検討・推進体制の構築
- 敬老パスやマナカによる電子マネーの利用促進に向けた市としての方針・戦略の作成

具体的な課題と対応策(案)

課題	対応策(案)	30年度の対応策(案) ※金額は要求ベース
決済用端末の設置促進<民間施設への導入>		
●商店経営における端末設置のメリットの拡充	○端末普及促進(新規加盟店舗拡大)に向けた考え方の整理【関係局】 ○端末設置に係るインセンティブの付与【市経】	◆交通局イベントと連動した交通局広報媒体・キャンペーンによる新規加盟店舗へのインセンティブの提供【交通】 ◆商店街における端末導入に対する支援【市経 3,200千円】
決済用端末の設置促進<市施設への導入>		
●市施設での敬老パスやマナカによる電子マネー利用促進についての全庁的な方針・位置づけ	○全庁的な検討の開始【関係局】	◆市施設での導入に向けた技術的支援(例:自動販売機)【交通】
敬老パスやマナカによる電子マネーの利用促進		
●利用者(敬老パスホルダー等)に対する電子マネーの利便性の理解促進	○電子マネー利用を伴う高齢者の効果的かつ効率的な外出促進策の検討【健福】	◆高齢者に対して電子マネーの利便性PRと利用促進に向けた広報啓発【健福 2,640千円】【交通 3,994千円】

敬老パス・マナカ利用促進の流れ(イメージ)案

<民間施設への導入>



<市施設への導入>

